

神戸市における自動運転車実証実験に関わる保険商品について

～自動運転車の実用化・普及に向けて実証実験を保険面からサポート～

2017年11月29日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（社長：金杉 恭三）は、2017年11月から12月までの約2か月間、神戸市北区筑紫が丘において、神戸自動走行研究会、株式会社NTTドコモ、株式会社日本総合研究所、国立大学法人群馬大学、神戸市により実施されるラストマイル自動運転移動サービスの実証実験（※）において、実証実験を取り巻くリスクへの補償として保険商品の対応で協力いたします。

（※）本実証実験は、自動運転車両が実用化された際の用途として期待が高い「近距離低速モビリティ」について、住民が主体となって実施する自動運転サービスの実証実験です。有人で低速走行の自動運転車両を用い、最寄りバス停、商店、病院などまでのラストマイルにおける移動サービスを、地域住民が一定期間体験することによって、用途や利用者数の確認のほか、適切な投資コストの把握、自動運転の関連技術の検証などを行います。詳細は群馬大学のニュースリリース（<http://www.gunma-u.ac.jp/information/31107>）をご参照ください。



【自動走行実証実験総合補償プランの概要】

当社は、昨年12月に自動運転車の普及の途上で顕在化する諸課題に対していち早く対処していくため、群馬大学と産学連携を締結しました。本年4月より、同大学内に研究室を設置、自動運転車の実証実験への参画による群馬大学との共同研究を通じて、保険商品面、事故の対応面からの諸課題についての研究を進めております。

自動運転車の社会実装に向けた実証実験が全国各地で展開されていく中、実証実験に関わるリスクを踏まえながら被害者保護の拡充を図る等、個々の実証実験に応じた保険プランの提供が必要となります。

神戸市実証実験においては、実験車両提供者として国立大学法人群馬大学、実証実験の運営主体者として神戸自動走行研究会の発起人であるみなと観光バス株式会社と保険契約を締結し、実証実験を取り巻くリスクに対する総合的な補償（自動走行実証実験総合補償プラン）を提供します。

当社は、「地域密着」を行動指針として掲げており、地域活性化に貢献していくため、本商品の提供を通じて、自動運転車の社会実装を保険面からサポート、地域の皆さまへ安心と安全をお届けしてまいります。

なお、MS&ADインシュアランスグループの当社と三井住友海上火災保険株式会社は、自動運転車の実証実験を取り巻くリスクを補償する「自動走行実証実験総合補償プラン」を共同開発し、2015年12月より販売しております。今後さらに、自動走行システム全般のノウハウを蓄積し、より安全に実証実験を行える環境作りを目指していきます。

